

出資金ふやし頑張ろう!

あかるいまち21

No.989号 2017年2月28日 組織部 TEL082-532-1264

	2月累計	4月～1月
組合員ふやし	69人	1,159人
出資金ふやし	770万円	1億1,019万円
純増	42万円	1,899万円

思った以上の集中力

福島支部さくら班は2月21日(火)に「ぬり絵」の班会をしました。

「たのしいぬりえ」のノートの中より、クリスマスツリー、可愛い女の子、クマのぬいぐるみ、果物など自分の好きなものを選び、色エンピツで色のバランスを考えながらぬりました。塗り絵くらい・・・と、簡単に考えていましたが、絵からはみでないよう塗るのは、思った以上に集中力を必要としました。



「つながりマップ班」でひとりぼっちをなくそう!



2月21日(火)、久しぶりにつながりマップ班を開きました。

今回の班会では、一人暮らしの高齢者の社会との交流の場として班を作り、ひとりぼっちをなくそうとの思いでマップとにらめっこ。

一人暮らしの人たちと楽しく雑談をしたり、悩みや体調、困ったことなどなんでも話せる班を設けていこうと話しました。

協同組合がユネスコの「無形文化遺産」に登録

「協同組合」がユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録されることが決まりました。登録されたのは、「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」です。

協同組合は19世紀に英国やドイツなど各国で生まれ、現在100か国以上で100億人の組合員が協同組合に参加しています。日本においても、農村社会の助け合いをその先駆けとしながら発展し、国内の組合員は6,500万人となり、様々な事業、活動を通じて、組合員の生活や仕事の向上、地域社会の発展に役割を果たし、よりよい社会づくりに貢献しています。



私たち保健生協も、胸をはって安心して暮らせるまちづくりを進めていきましょう!

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合